

# 令和4年度農作物有害動植物発生予察情報 注意報第1号

令和4年7月21日  
山形県病害虫防除所

1 病害虫名 いね 斑点米カメムシ類  
(アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ：写真1)

2 対象地域 県下全域

3 発生量 多い

4 注意報発表の根拠

ア. 7月後半(7月18~20日)に実施した畦畔・農道等におけるすくい取り調査の結果、斑点米カメムシ類の発生確認地点率は88.6%(平年:80.2%)でやや高く、平均すくい取り虫数は36.4頭(平年:19.6頭)と多い(図1、2)。

イ. 特に、イネ科雑草が繁茂している畦畔・農道等で発生が多く、すくい取り調査では数地点で100頭を超えるところが見られている(写真2)。

ウ. 向こう1か月の気温は高いと予報されており、斑点米カメムシ類の増殖及び活動が活発になると推測される。

5 防除対策

ア. 穂揃期及び穂揃期7~10日後の2回の基本防除を徹底する。なお、圃場の出穂状況をよく確認し、適期に防除する。

イ. 航空防除や無人航空機等による防除を計画しているところでも、天候等により防除時期が計画より遅れる場合には、個人防除を実施する。

ウ. 水田内にイヌホタルイ等のカヤツリグサ科雑草やノビエが多い圃場では、斑点米カメムシ類の水田内での発生が多くなるので注意する。

エ. 出穂期前後の草刈りは、斑点米カメムシ類の水田侵入を促し、斑点米の発生を助長するので原則行わない。やむを得ず草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除計画に合わせて実施する。

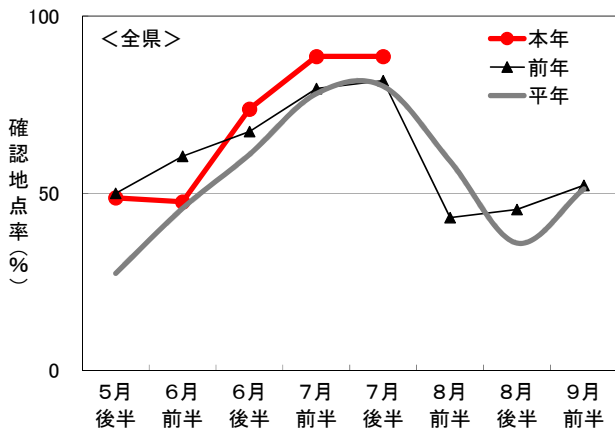


図1 畦畔・農道等における斑点米カメムシ類の発生確認地点率の推移

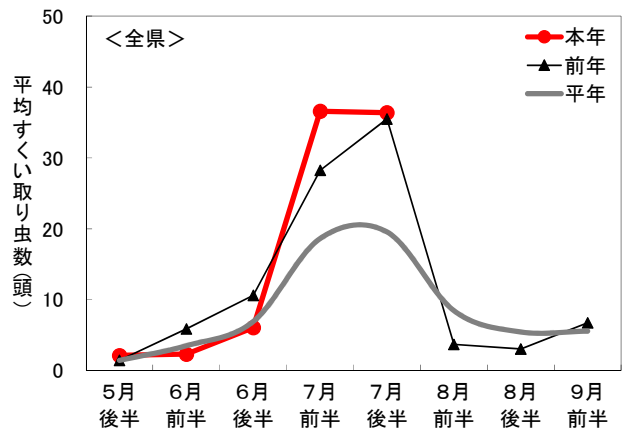


図2 畦畔・農道等における斑点米カメムシ類の平均すくい取り虫数の推移



写真1 上：アカスジカスミカメ  
下：アカヒゲホソミドリカスミカメ



写真2 メヒシバの穂に多数寄生するアカスジカスミカメ

**山形県農薬危害防止運動実施中**（実施期間 令和4年6月1日～8月31日）

農薬の使用に当たっては、**農薬使用基準（収穫前使用日数、使用回数など）を遵守する**とともに、周辺圃場の農作物や住宅地等へ飛散しないよう十分留意する。

また、広域的に防除を行う場合は、学校等公共施設、周辺住民、養蜂家等への防除計画の事前周知に努めるとともに、防除従事者は防除衣等の着用や体調管理に努める等、農薬使用による危害防止対策を徹底する。

山形県病害虫防除所	本 所	TEL 023-644-4241	FAX 023-644-4746
	庄内支所	TEL 0235-78-3115	FAX 0235-64-2382

山形県病害虫防除所トップページ	<a href="https://agrin.jp/theme/byogaichubojosho/index.html">https://agrin.jp/theme/byogaichubojosho/index.html</a>
農作物有害動物発生予察情報	<a href="https://agrin.jp/theme/safe_products/yosatsu/index.html">https://agrin.jp/theme/safe_products/yosatsu/index.html</a>